

☆令和元年度2学期 建築科の取り組み No.6

1年生 工業技術基礎 造園マイスターから学ぶ授業

12月11日・12日に、造園マイスターから、10月末につくったものを設置場所である中庭に運び、トプライトを囲む竹垣をつくっていく授業でした。マイスターの先生方からの提案で、東西面はさらし竹を横遣いに、南北面は縦遣いにして、デザインの違うものが学べるようになっています。制作していく生徒たちにとっては、設置する場所の土の整地から、実際の形になって、空間が変わる面白さを体感できる授業でした。マイスターの先生から、現場での調整の仕方など、その場での判断の速さ、指示の的確さなど、たくさん学ぶことができました。2月の完成に向けて、クラス全員で取り組んでいきます。



土を整地して、前回つくったものを設置



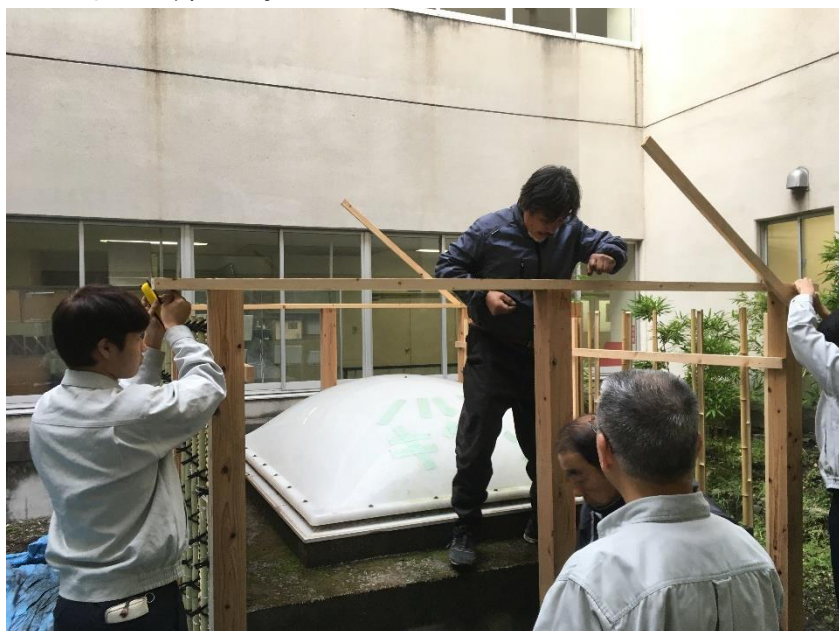
さらし竹を必要な長さに切り、積み重ねます



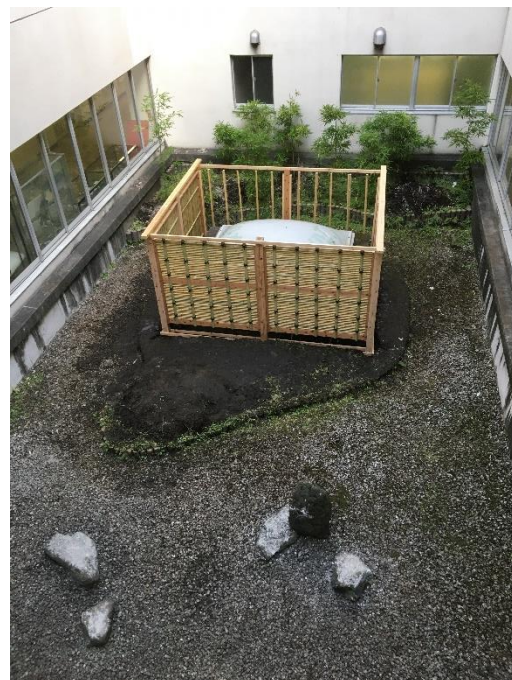
シュロ縄を、男結びで結びます。先生のようにきっちりと締めるのは難しい。



制作する班が、変わり、初めての竹割を行います。4mの竹を途切れることなく割ります。



トプライトの周囲を囲むように設置します。先生の判断の速さに驚きます。



今日はここまで。完成に向けて取り組んでいきます。